

事務事業名	本庁部局 庁舎管理事業		所属部	総務部	所属課	管財課
総合計画体系	政策名	〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉		所属G	財産管理監視G	課長名 富山照夫
	施策名	〈05〉時代にあった行政サービスの実現		担当者名	深田貴之	電話番号 0854-40-1025 (内線) 2372
	目的対象	A)市民 B)行政機能	意図	公平で効率的なサービスを受ける(提供する)。		
	基本事業	〈012〉業務と組織機構の効率化		予算科目	0:1:1:0:0:3 0:5:3:0:0:2	大事業名 市有施設等管理事業 中事業名 庁舎管理事業
目的対象	行政機能	意図	効率的な組織機構で効果的な行政サービスを提供する。			

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
庁舎施設	①事務に支障が生じないように維持する ②各種施設の維持及び修繕を図る ③維持管理経費の節減に努める
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返( H16 年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )	本庁舎 里方分庁舎に係る施設維持・修繕及び管理業務
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動) 対象施設維持管理	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 従来からクールビズやウォームビズ等行っている。 急激な電力使用はデマンド値の上昇を招くことから、酷暑期や極寒期は、空調機の作動開始時間を工夫し、これを抑えている。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)	R4年度 (計画)
ア 光熱水費	千円	14,008	12,853	13,200	13,350
イ 修繕費	千円	525	1,671	1,273	1,160
ウ 管理運営委託	千円	36,025	36,364	36,897	36,430
エ 事業委託	千円	616	0	352	320

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)	② コストの推移	単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)	
上記に加え、 ・消耗品費:3,664千円(コロナ経費有) ・燃料費:1,154千円 ・手数料:453千円 ・使用料・賃借料:562千円 ・備品購入費:1,082千円(コロナ経費有) 小計:6,915千円	財源内訳	国庫支出金	千円		10,011	983	5,500
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円	1,878	2,777	1,885	2,180
		一般財源	千円	53,374	50,978	55,769	53,370
事業費計		千円	55,252	63,766	58,637	61,050	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	最大デマンドは、建設間もないH28年度は153kW、その後職員増・サーバー移転等により徐々に上昇傾向で、181kWとなったが、令和3年度末では171kWとなっている。
② 事業実施するうえでの課題	管理運営委託は、本庁舎・里方分庁舎を維持するために必要な委託料であり、削減の余地がない。 今後発生する修繕、交換が必要な機器類への対応。 新型コロナウイルス感染症対策に、引き続き注意が必要。 令和2年1月使用分から燃料調整額(単価)が、令和3年5月使用分から再生エネルギー発電賦課金(単価)の急上昇による電気代の高騰。
③ 課題解決に向けた改革改善等	各施設を今後も適切管理に努めることにより経費節減を図っていく。 また、老朽化が進む一部の庁舎施設とともに、本庁舎・里方分庁舎も、長寿命化等の検討が必要である。